

2022.04.28 発行



兵庫県立三田祥雲館高等学校 21 回生年次通信 第 2 号

21 回生がスタートしました

【入学式 4/8 (金)】

満開の桜が美しく輝く春の陽ざしの中、6 組魚崎健太さんの宣誓の下、21 回生 240 名が三田祥雲館高校への入学を許可されました。これから始まる高校生活への大きな期待と少しの不安を胸に、緊張した面持ちで体育館に入場するみなさんが、三田祥雲館高校での 3 年間で充実したものにしていくことを心から願っています。3 年後、心身ともに成長して卒業する日まで、仲間と共に一日一日を大切に歩んでいきましょう。



【対面式&部活動紹介 4/11 (月)】



先輩方との対面式。2 年次とは体育館で直接出会い、3 年次とはオンラインでの対面でした。4 組楠幸一郎さんが新入生代表の挨拶をしてくれました。「制限の多かった中学校生活でしたが、その悔しさをバネに祥雲館高校では授業、探究活動、行事などに全力で取り組みたい」という力強い言葉は、21 回生全員の高校生活への決意そのものでした。

対面式後、各部活動の個性あふれる紹介動画を楽しみました。どの部活動も魅力的で、何部に入るか迷ってしまいそうですね。

オリエンテーション合宿を終えて

4 月 13 日 (水) ~ 15 日 (金) に鉢伏高原でオリエンテーション合宿を行いました。残念ながら天候に恵まれたのは初日のみでしたが、すべての活動に懸命に取り組む 21 回生の姿を見ると、雨模様とは正反対に心はスッキリと晴れ渡りました。

到着してすぐに行われたアイスブレイクでは、クラスの枠を超えて親交を深めました。探究活動、校歌練習ではグループやクラスで最高のものを創り上げようとする真剣な様子に頼もしさを感じ、今後の 21 回生の活躍が楽しみになりました。祥雲クイズ、ロープクライミング、クラスレクなど楽しむところでは思いっきり楽しみ、5 分前行動や挨拶、黙食の徹底など引き締めるところはきっちり守る。この切り替えができてこそ祥雲生。この合宿を通して、21 回生のみなさんも正真正銘の祥雲生になることができたようです。



【生徒感想文より (一部抜粋)】

1 組 坂本悠輔

私はこの 2 泊 3 日のオリ合宿で多くの仲間と出会い、そして互いに理解を深めました。私たち 1-1 が多くの活動を通して友情を深めることができた理由は、みんなが目標を持ち、この合宿に臨んだからだと思います。校歌コンクールや探究発表、祥雲クイズで上位を目指すことで会話や話し合いがより円滑に進んだと私は考えています。この学校の特色である探究活動では、中学校では経験したことがなかった発表や全体での質疑応答で、最初は勇気が出ず、自ら手を挙げるできませんでした。しかし、積極的に手を挙げている仲間を見て、「自分もこのままではいけない」と思い、手を挙げて初めて質問した時、私も少し変わったのではないかと思います。植田先生もおっしゃっていたように、この合宿の評価は 1 年次が終わる頃に出るものなので、この合宿があってよかったと思えるように、日々の生活を頑張りたいです。



2 組 前田 姫菜

私は正直に言ってオリエンテーション合宿はあまり行きたくありませんでした。理由は主に 2 つ。仲良くなった友達と泊まる部屋が違う、そしてご飯が…の 2 つでした。本当に友達ができるかな、部屋で一人ぼっちになったら、という不安ばかりでした。けれどいざ部屋に行くとみんなフレンドリーに接してくれ、とても良い人ばかりでした。ご飯はとてもおいしく、私が想像していたよりも多く食べていました。ここで学んだことは案ずるより産むが易しということです。いつの間にか、まだ泊まりたいという気持ちになっていたほどです。学年レクでは他のクラスの人と関わることができました。1-minute では 6 組の人とペアを組んで話す際、とても緊張したけれど、良いアドバイスを返ってきたり、私の頭では浮かんでこなかったような探究をしたいという人が多くいました。それを聞いて私も新しくやってみたい探究が見つかりました。このオリエンテーション合宿に行き、団体行動での時間やルールを守る大切さや人を良く知る大切さを知ることができました。この経験を生かしてこれから学校生活を送っていきたいです。



3 組 原田 知海

友達がまだまだ少ない中での宿泊行事で、すごく不安な思いでいたけど、最初のレクですぐに緊張がほぐれて笑顔でスタートできてよかった。校歌を覚えるために友達と部屋や移動の時に歌うことが楽しくて、おかげで校歌が好きになった。校歌を 3 日で歌うなんて無理だと思っていたのを後悔。3 日間を通して、計画を立てることの大切さとルールやマナー、言われたこ

とを守る重要性に気づくことができた。すべきことができていないときもあったから、祥雲生として、人として、もっと成長するべきだと感じた。多くの人が探究で発表していたように、主体的に取り組むことができるようになりたい。

ハイキングができなかったり、存分に入浴することができなくて残念だけど、それ以上に学びがあり、本来のオリ合宿の目的を達成できたと思う。班に貢献できず、迷惑をかけてしまったから、これからの学校生活で取り戻せるように手帳を活用して「有言実行」を目指そうと思った。3日間の心と思考の成長を無駄にしないよう、自分の興味をSS探究で深めていきたい。



4組 山本 優奈

2泊3日という短くて長い合宿は、始まれば「始まるのかー。」と、終われば「終わってしまうのかー。」と単純に思う日々でした。まず知らない子と仲良くなるのが誰もが思う1番の目標だと思います。でも、みんないい子っていう簡単な言葉で表しますが、本当に良い人ばかりです。改めて、人と話すのってこんなに楽しかったっけ…と思うほどでした。探究活動ではゼロからのスタートで不安があった中、友達と相談したり、声をかけあって考えに考え抜いた案をみんなに発表するのはすごく達成感がありました。この合宿では主に、行動力と協力性が求められていたと思います。時間を見て、早めに行動することや声をかけあって協力する大切さを学びました。怖がりですが、冒険好きな私にとって充実した時間でした。1年生で仲良くなる機会をもっと増やしていきたいです。



5組 稲納 円花

2泊3日のオリエンテーション合宿ではいろいろなことがありました。アイスブレイクでは自分のクラス以外の人とお話する機会がありました。先生方に言われた自己紹介内容以外の話もたくさんすることができ、素敵な思い出になりました。そして部屋では、毎回誰かが声をかけ、5分前には集合場所に到着しておくことができるよう努力しました。混んでしまってギリギリになることもありましたが、このオリ合宿で時間を見て行動する力を磨くことができました。次にやることを頭に入れておき、しおりを見て友達と自主的に動くことができ、わからないことは先生に聞くのではなく、自分たちで解決へと導くということを実践することができたと思います。この合宿で、協力する友達と主体的に学ぶ新しい環境ができました。これから自分の能力を発揮できるよう、祥雲で友達作りも勉強も頑張っていきたいと思います。



6組 萩原 綺乃

合宿前は、新しい環境にすごく不安を感じていました。ですが、合宿を終えた今は、すごく楽しみになりました。新しい友達もできたし、クラスメイトと協力することもできてよかったです。探究活動では、最初は積極的に意見を出せなかったけど、班のみんながとても優しく話しやすい雰囲気だったので、意見を出すことができました。また、自分たちは選ばれていないけど自分たちのクラスの代表班が1位になることは、すごく嬉しかったです。そして、校歌コンクールでは、最初はほぼ声が出ていなかったけど、練習を通してだんだん声が大きくなって、みんなが自信をもって歌えるようになって、学年2位になったので、とてもうれしかったし、良かったです。成長が目に見えてわかることはすごく嬉しいことなんだなと思いました。この合宿で、私は少しですが、積極的になれたと思います。また、クラスの団結力と仲も深まったので良かったです。



【校歌コンクール】

優勝 1組 準優勝 6組 3位 4組

【探究プレゼンテーション】

優勝 6組7班 準優勝 1組8班 3位 2組4班

【祥雲クイズ】

優勝 3組3班 準優勝 5組3班 3位 1組2班



5月の予定

- 2日(月) 全校集会
- 18日(水) 夏服引き渡し 15:30~ (書道教室)
- 20日(金) 育友会総会・個別相談会
- 21日(土) 学習マラソン
- 23日(月)~26日(木) 前期中間考査
- 29日(日) 第1回英検
- 30日(月) 教育実習開始



学習マラソンの案内

学習マラソンとは、各考査前の土曜日に、学校で8時半~17時までテスト勉強をするというものです。基本的には自学自習ですが、教科の先生に質問することもでき、毎回大盛況です(特に数学)。家ではどうしてもスマホやテレビの誘惑に負けてしまうという人はぜひ参加して、仲間と一緒に勉強しましょう。